

## 国循・天理よろづ印 症例とエコー×イラストで学ぶ 成人先天性心疾患[Web 動画付]

泉 知里(編)

滋賀医大教授・循環器内科

中川義久

### 国循×天理×ACHD, 納得の一冊として 推薦します！

『国循・天理よろづ印』の名を冠したシリーズ第2弾、『症例とエコー×イラストで学ぶ 成人先天性心疾患』は、初作『心エコー読影ドリル』をさらに発展・深化させた一冊です。「国立循環器病研究センター」と「天理よろづ相談所病院」という、わが国を代表する二つの施設の叡智が融合し、相乗効果によって誕生した書籍といえます。

国立循環器病研究センター(国循)は、日本で2番目のナショナルセンターとして1977年に設立され、先天性心疾患を含む循環器疾患の克服に取り組んできました。一方の天理よろづ相談所病院(天理)は、1966年に奈良県で開院し、翌年には年間100例を超える体外循環手術を達成。黎明期には心房中隔欠損症や心室中隔欠損症が多く、後にファロー四徴症、大血管転位、総動脈幹、単心室などの複雑症例も増加しました。小児循環器領域の田村時緒先生らの尽力により、天理は全国から先天性心疾患患者が集う拠点として発展しました(p.49 コラム参照)。そして小児期に手術を受けた患者たちが成人へと成長し、現在も同院でフォローを受けている——この歴史の積み重ねこそが、「成人先天性心疾患」という分野の成熟を象徴しています。

本書の中心的執筆者である泉知里先生は、まさにこの二つの施設で医師人生の大半を過ごし、臨床と教育の最前線で研鑽を積んでこられました。成人先天性心疾患の診療・教育の双方を牽引してきた泉先生が、症例の息づかいをそのままにま

め上げたのが本書です。特にQRコードを通じて動画を何度でも視聴できる構成は、実際の症例カンファレンスを超える教育効果をもたらします。読者はまるでその場に参加しているかのように、討論の臨場感と知的興奮を味わうことができます。

第2章の症例カンファレンスは、臨床現場の息づかいを感じるような臨場感に満ち、読み進めるうちに自然と引き込まれます。冒頭の第1章(大内秀雄先生)はわずか8ページながら、成人先天性心疾患の基礎知識が凝縮された充実の内容で、第2章の軽妙で熱気あふれる展開を絶妙に引き締めています。さらに随所に配置されたコラムは、著者陣の情熱がほとばしるようで、読む者にエネルギーを与えてくれる“栄養ドリンク”のような存在です。

本書は心エコーを学ぶ医師・技師にとって有益であるのはもちろん、「先天性心疾患は難しいな」と思っている読者にこそ、新たな視点をもたらしてくれるはずです。成人先天性心疾患の奥深さと魅力を再発見させてくれる、まさに読む価値のある一冊です。自信を持って推薦いたします。



●B5/頁152/2025年  
定価：7,920円  
(本体7,200円＋税10%)  
[ISBN978-4-260-06220-6]  
医学書院 刊